

# 麓地区 まちづくり推進計画



麓地区  
まちづくり  
推進協議会



## 目次

1. ご挨拶 ..... 1
2. まちづくり推進計画について ..... 2
3. 麓地区の概要 ..... 3～5
  - (1) 麓地区の人口の推移
  - (2) 麓地区の歩みと主な地域行事
4. 住民アンケートの結果 ..... 6～9
5. 住民アンケートの考察 ..... 10,11
6. まちづくりの目的(麓地区の目指す姿) ..... 12
7. まちづくりの活動の柱 ..... 13
8. まちづくりの事業 ..... 14～16



## 1 ご挨拶

「お手洗の滝の清水よ、九千部のけだかき峰よ」と麓小学校の校歌に歌われているように、このまちは自然を敬い、自然とともに生きてきたまちであり、一方で新しい街並みと新幹線が停車するまちとして、多くの人々が集うまちでもあります。

このように自然と利便性に恵まれた麓地区でさえ高齢化の波は押し寄せ、人と人との結びつき、地域との関りが希薄化しているという状況が、今回麓地区の全世帯を対象に実施した住民アンケートで見えてきました。麓地区のまちづくりを話し合い、

実践していくための麓地区まちづくり推進協議会では、様々な事業を通して世代間交流を盛んにし、子どもや高齢者をみんなが支え合い、安全で安心して暮らせるような環境づくりをすることが10年後の麓地区が目指す姿と考えます。



この計画を実現していくためにも、住民の皆さまがまちづくりを身近なものとして捉え、その活動が地区全体に広がっていくことが重要で、「交流」「防犯・防災」「人材」をまちづくりの柱としてそのための活動を実践してまいります。

皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

麓地区まちづくり推進協議会 会長 中原 秀満

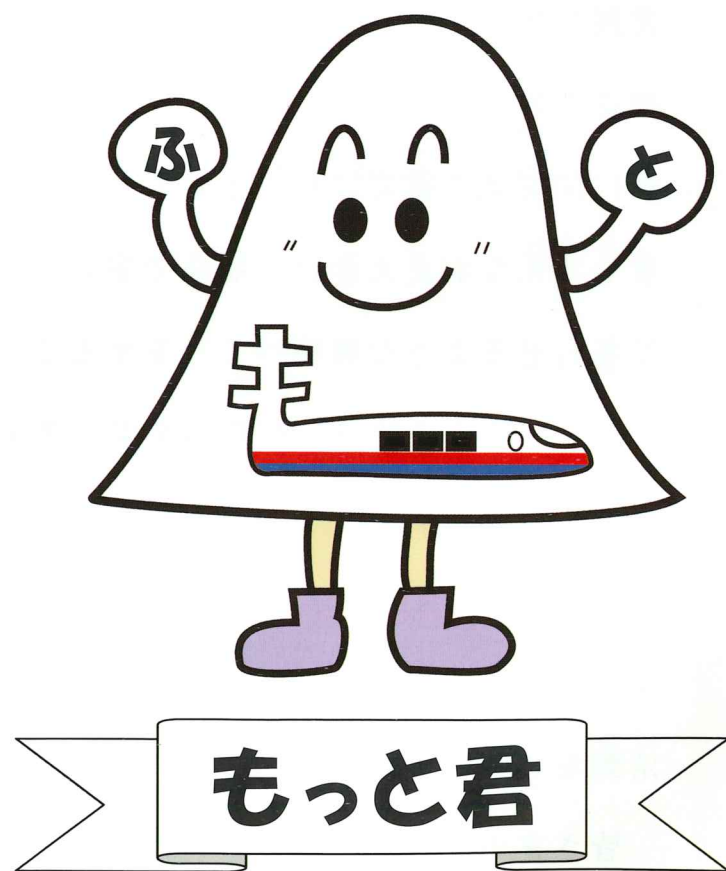


## ② まちづくり推進計画について

平成24年2月に設立された麓地区まちづくり推進協議会は、まちづくり推進計画において麓地区が目指す将来の姿を明らかにし、麓地区に住む子どもから高齢者まで、みんなが安全で安心して暮らせるために、世代間交流を盛んにしてみんなで支えあう社会を作ることを目指すこととしました。

そのために地区の皆様に住民アンケートをお願いし、地域の現状と課題を明らかにして、課題解決のための取り組みをみんなで共有し、様々な事業のなかで麓地区が目指す姿を達成するために活動をしてまいりました。

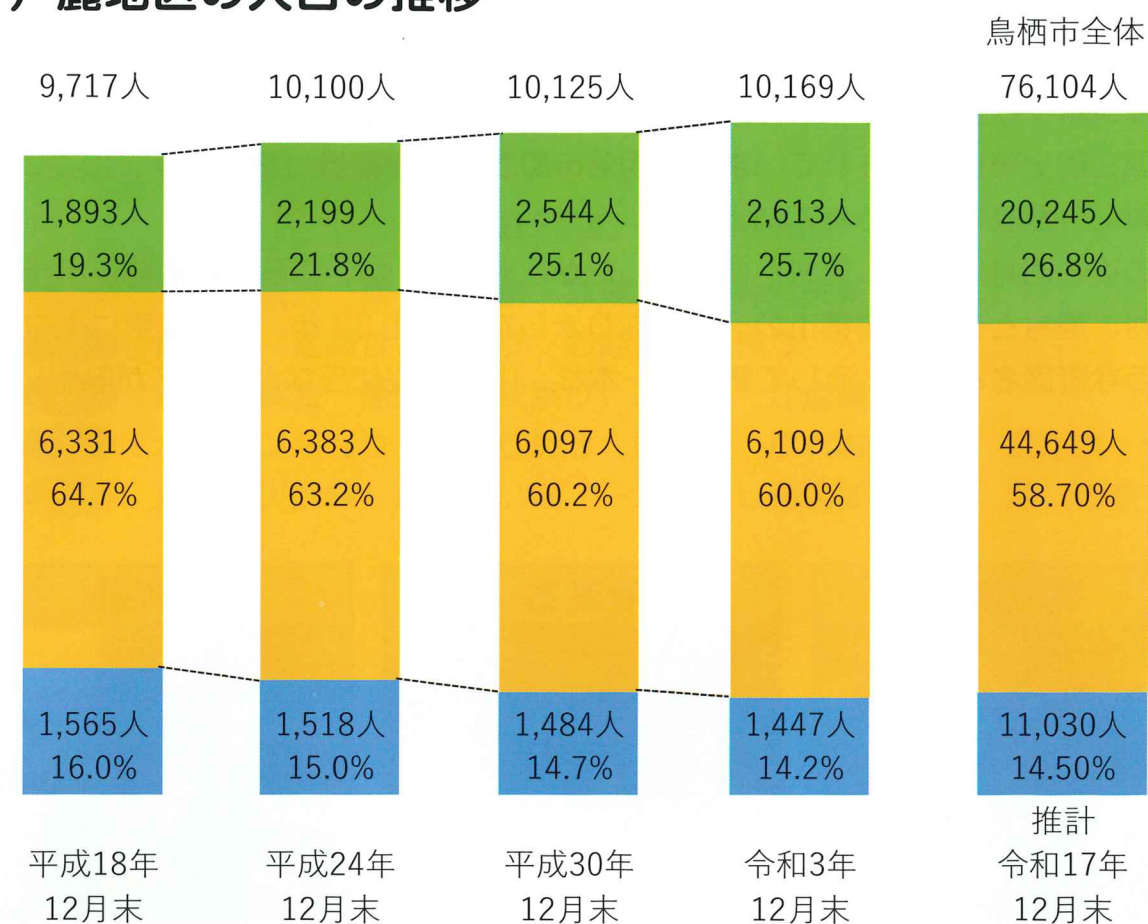
ここで、これまでの10年を踏まえ、この先10年後の麓地区の将来像をみんなで共有するために、今回の住民アンケートをもとに麓地区の現状を把握し、改めてまちづくり推進計画を策定し、麓地区まちづくり推進協議会の目指す姿を明らかにするものです。



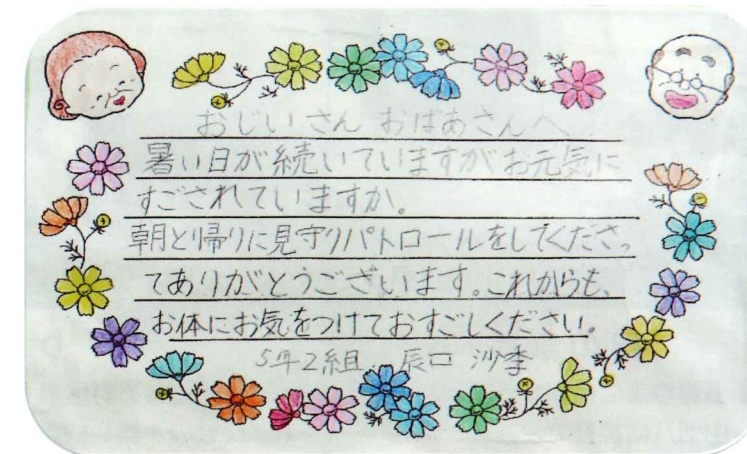
麓地区イメージキャラクター

## ③ 麓地区の概要

### (1) 麓地区の人口の推移



麓地区の人口は令和3年12月末10,169人です。平成24年12月末は10,100人で、69人増加していますが、65歳以上の高齢化率は平成24年12月末時点の21.8%から10年間で3.9ポイント増加しています。また、14年後の令和17年12月末の鳥栖市全体での高齢化率が26.8%になるとの推計があります。



毎年、敬老の日にあわせて麓小の子どもたちからたくさんお祝いのメッセージが届きます。(一例)





## (2) 麓地区の歩みと主な地域行事

麓地区は古くから人々が住み、縄文遺跡や古墳などが数多く残っています。戦国時代には筑紫氏が五代90年にわたり勝尾城を本拠地にしていましたが、その山城の遺跡は現在国史跡に指定されています。明治の町村制実施前は、宿、牛原、山浦、立石の四村に分かれて治められていました。

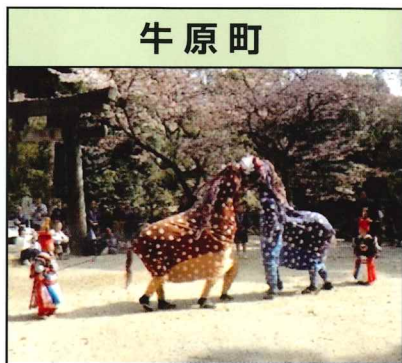
その後、四村は合併し麓村となりましたが、昭和29年、さらに鳥栖町、田代町、基里村、旭村と合併し鳥栖市の一部となりました。昭和32年、町名変更により現在のような町区名となり、そして新たに一本杉、山都、桜ヶ丘などの町区が誕生しています。



蔵上町

### 御田舞

豊作を祈願する古式ゆかしき田植えの舞が老松宮で披露されます。



牛原町

### 獅子舞

無病息災、五穀豊穣を願う舞奉納で香椎宮、四阿神社境内で行われます。



養父町

### ホンゲンギョウ

「年神の送り火」の行事として養父神社境内で行われます。



山浦町

### 秋の祭典

五穀豊穣に感謝する秋祭りで、山浦八幡神社で注連縄と旗揚げをし、神事が行われます。



桜ヶ丘町

### 盆踊り

長い歴史のある町区最大の行事。太鼓の演奏や飲食物のおもてなしがあります。



原古賀町

### 歳旦祭

熊野神社の新年を迎える行事として、境内やお堂内をお飾りしたあと歳旦式が行われます。



令和4年現在、麓地区には10の行政区がありますが、それぞれの町区で地域の人々が大切に守り続けてきた行事がたくさんあります。どれも地域の人々の交流の場として、次世代に承継したい行事となっています。

### 【地域行事の一例】

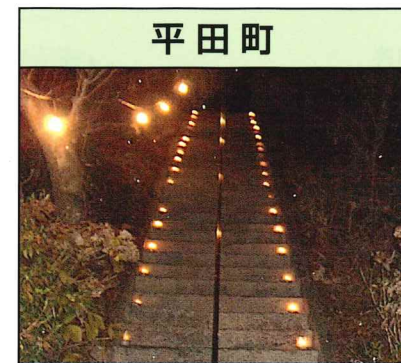
- 春 ヤマメ放流 獅子舞奉納 球技大会 弁財天祭り
- 夏 願成就 盆踊り 夏祭り お観音さん祭り
- 秋 敬老祝賀会 運動会 秋祭り 御田舞 注連縄奉納
- 冬 ホンゲンギョウ こもり焚き 歳旦祭 ふれあい祭り 文化祭
- 通年 自主防災訓練 ふれあい畑 一人暮らし高齢者食事会 美化作業



山都町

### グラウンドゴルフ大会

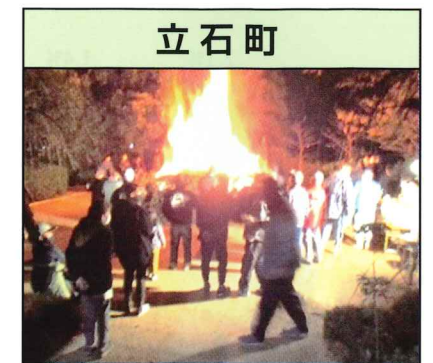
町民の親睦と健康維持を兼ねた大会が、町区の第3広場で開催されます。



平田町

### 光の回廊

大晦日の平田天満神社で階段に並べた灯籠に火を灯し、初詣の参拝者の足元を照らします。



立石町

### こもり焚き

出雲から帰る氏神をお宮の境内で火を焚いて迎えをします。



一本杉区

### 敬老祝賀会

”歌あり踊りあり”出演者の名演技に拍手喝采。祝賀会はどの町区でも盛大に開催されます。



地域の人が丹精込めて育てている盆養菊  
毎年11月ごろ大輪を咲かせます。





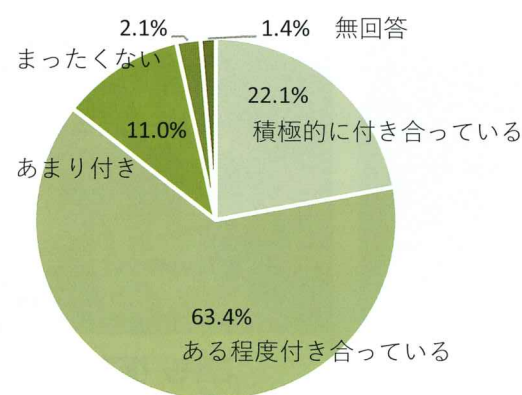
## ④ 住民アンケートの結果

麓地区の現状を把握するため、令和4年に『麓地区のまちづくりに関する住民アンケート』を実施しました。平成24年に行った同種の住民アンケートと比較した結果は次のとおりです。

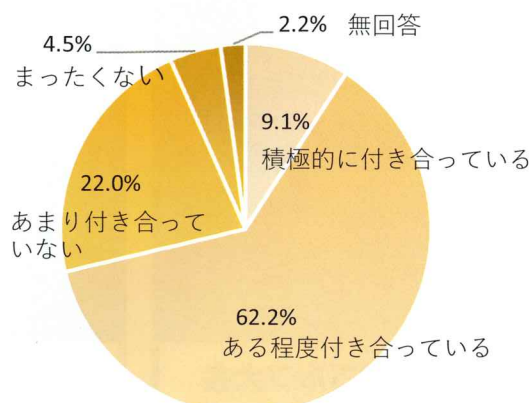
調査時期：平成24年  
 調査対象：麓地区在住者  
 配布数：340件  
 回答数：290件  
 回収率（85.3%）

調査時期：令和4年  
 調査対象：麓地区全世帯  
 配布数：2,825件  
 回答数：1,574件  
 回収率（55.7%）

### 近所付き合い



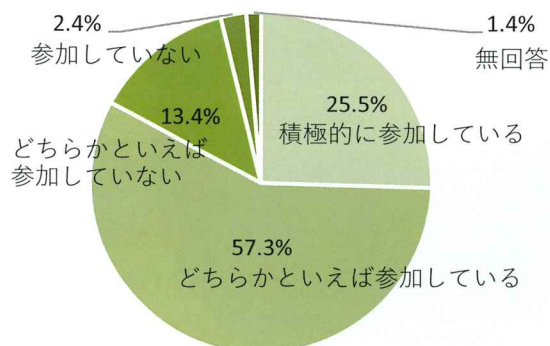
平成24年



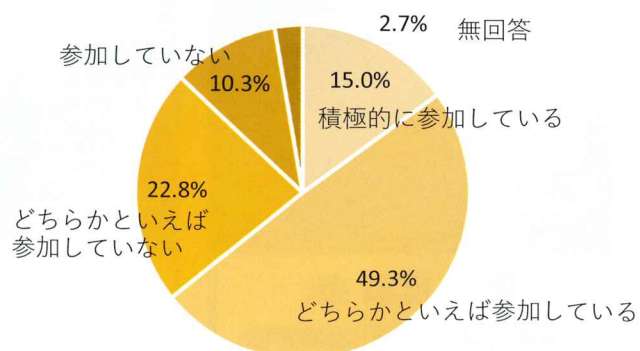
令和4年

「積極的に付き合っている」と「ある程度付き合っている」と回答している割合が71.3%で、引き続き大部分の方が近所付き合いをしていることがわかります。

### 地域行事への参加状況



平成24年

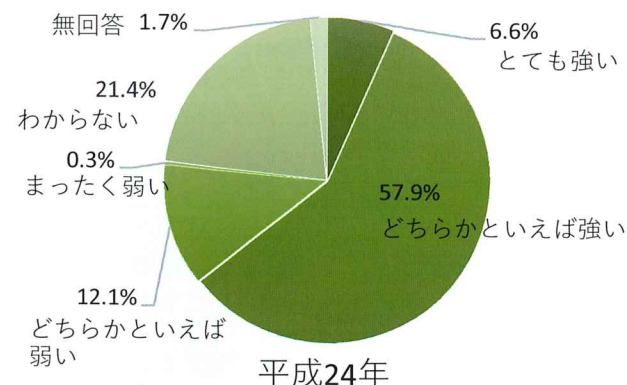


令和4年

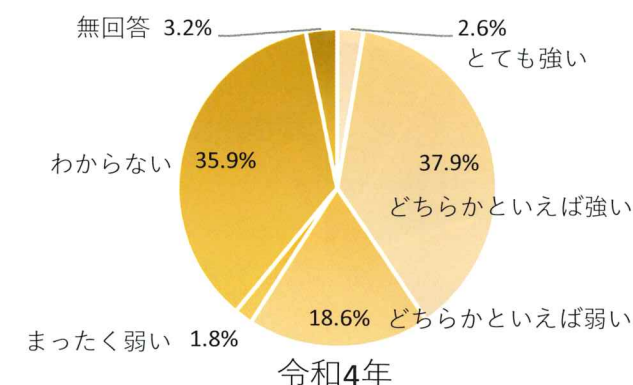
地域行事に「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」と回答した割合は3分の1を超えており、前回よりも倍増しています。



### 人と人の結びつきについて



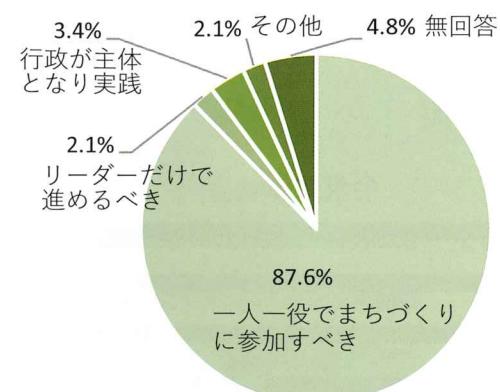
平成24年



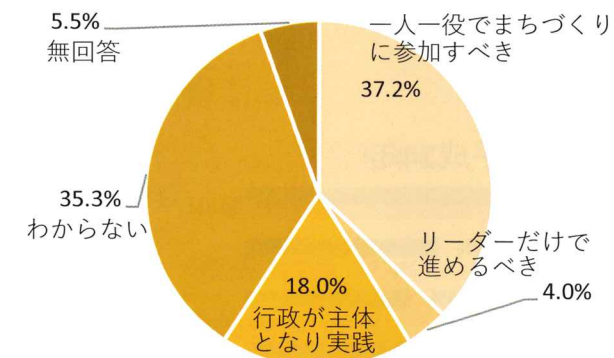
令和4年

人と人の結びつきは、前回と比較すると、相当弱くなってきています。

### 住民参加のまちづくり



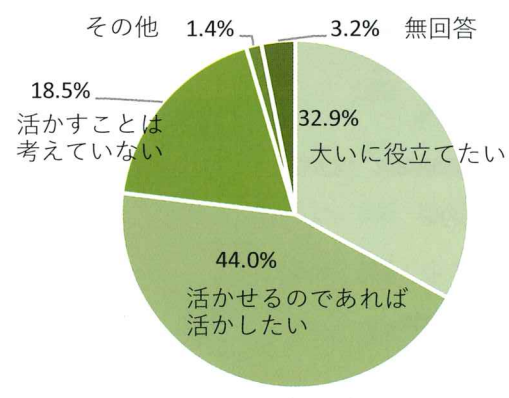
平成24年



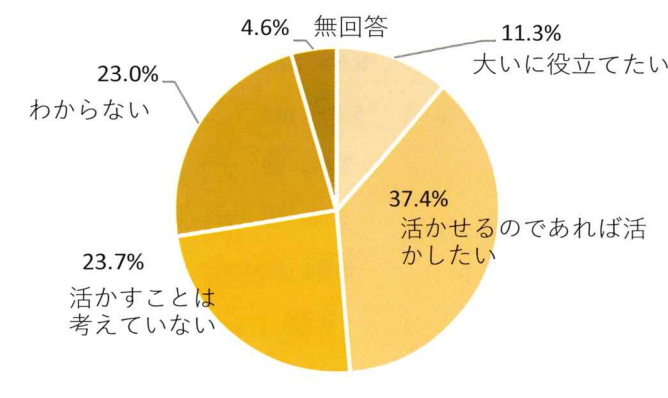
令和4年

住民参加のまちづくりに「できる範囲で一人一役」と考える割合が前回より極端に減少しています。

### 趣味・特技をまちづくりに活かすこと



平成24年



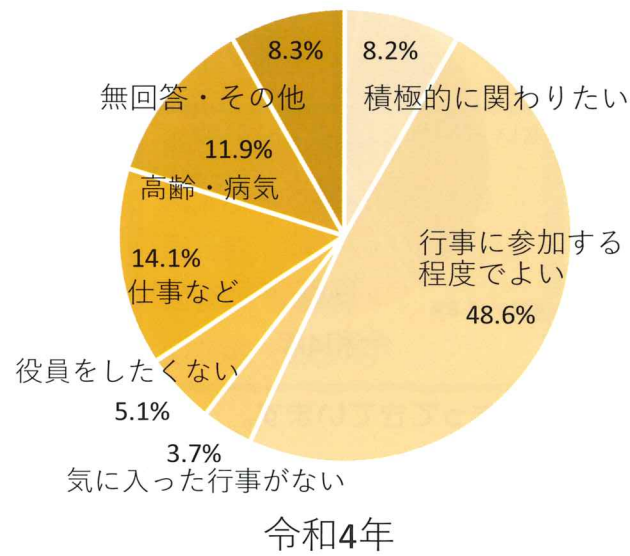
令和4年

趣味や特技をまちづくりに「大いに役立てたい」と「活かせるのであれば活かしたい」という割合は半分程度になっていますが、まだまだ多くの方がまちづくりに高い意識を持っておられることをうかがわせます。



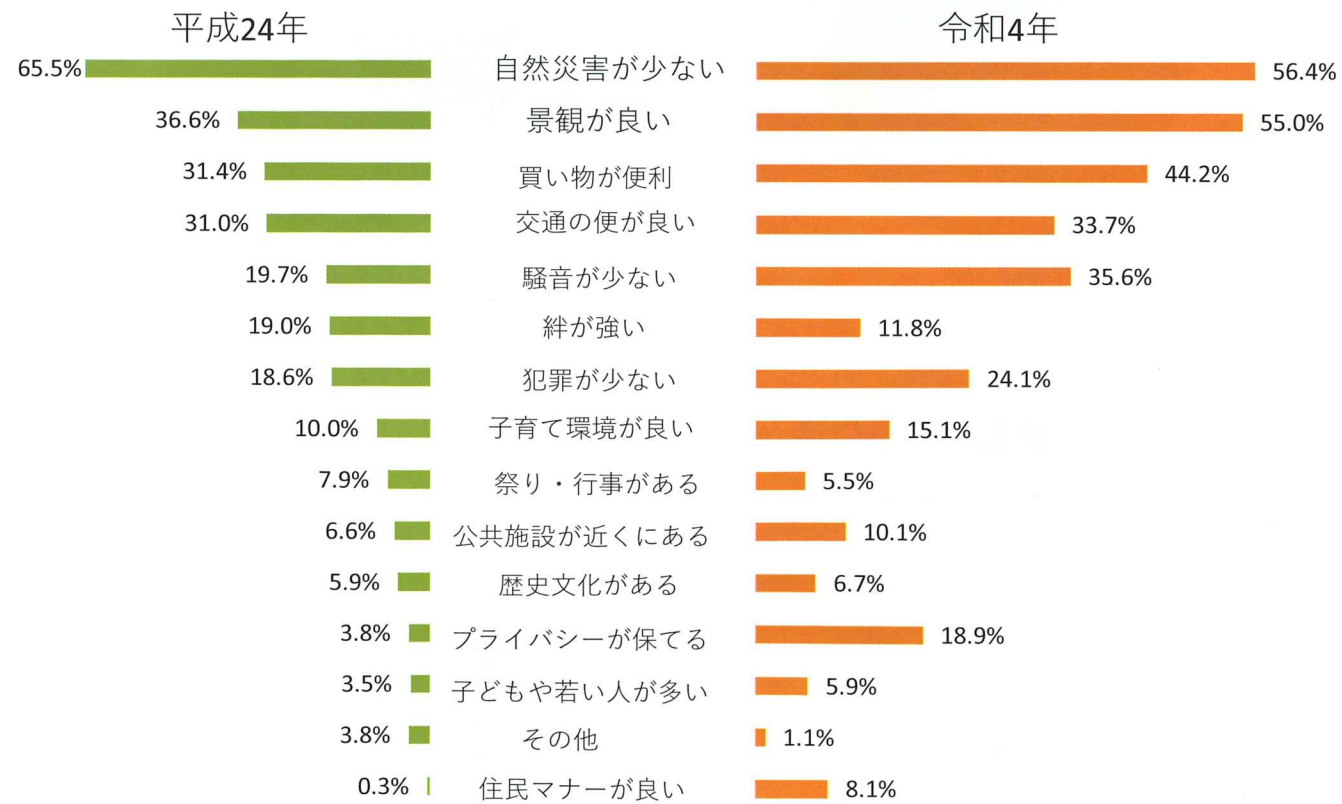


任意団体との関わりについて



仕事や高齢などの理由で自治会や老人クラブなどの任意団体に関われないという方が26%程度おられます。一方で行事に参加するだけいいという方も半数近くおられます。しかし8.2%の方が積極的に関わってほしいという高い意識を持っておられます。(この問いは、令和4年のみです。)

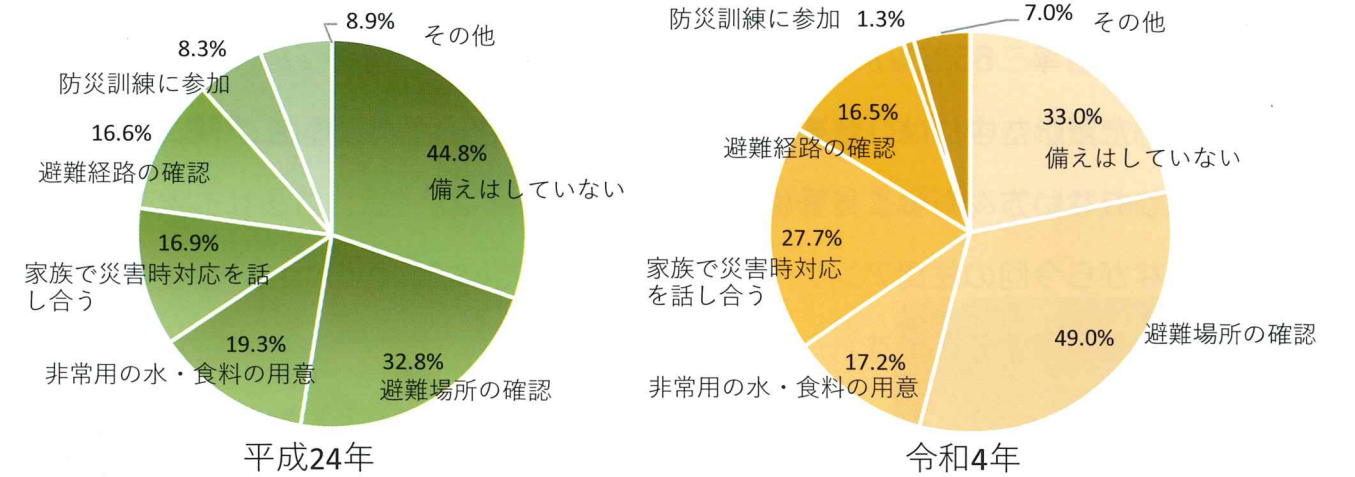
麓地区の長所



「自然災害が少ない」、「景観が良い」という回答が上位を占めており、依然として麓地区が自然に恵まれた環境にあることを示しています。また、「買い物が便利」、「交通の便がいい」という意見も多く、鳥栖市が交通の要衝であることや地区内にも商業施設があることで利便性が高いと言えます。

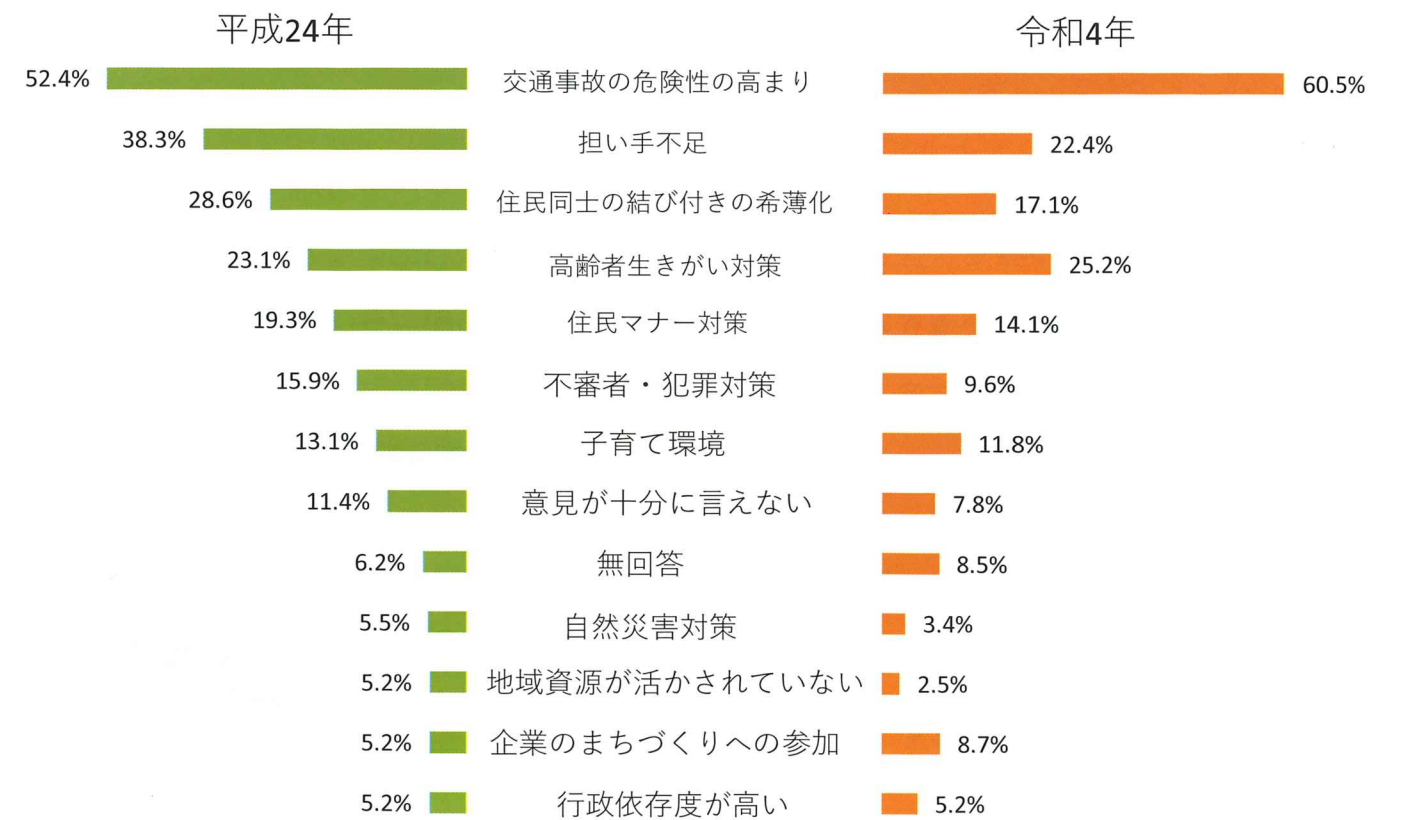


災害に対する備えや対応



「災害に対する備えをしていない」という割合は減少し、「避難場所の確認」や「家族で災害時対応を話し合う」割合が増えています。災害に対する危機感を感じている人が増えていることが考えられます。

災害に対する備えや対応



「交通事故の危険性の高まり」、「担い手不足」、「住民同士の結び付きの希薄化」、「高齢者生きがい対策」が前回と同様に課題として上位を占めています。





## ⑤ 住民アンケートの考察

今回麓地区の全世帯（配布数：2,825 枚）を対象に住民アンケートをお願いし、1,575 件（回答率 55.8%）のご回答をいただきました。

ご回答いただいた中には、仕事、高齢、病気などのさまざまな理由で「まちづくり」に直接関われない方々も多く見受けられます。

しかしながら今回の住民アンケートに挙げていただいた課題の中に、今後のまちづくりの方向性が見えてきます。

### ○高齢化の進展ときずなづくり

### ○多世代間の交流の推進



世代間交流を推進する町区の運動会

10年前の住民アンケートと比較して近所付き合いや地域行事への参加度、人となりの結びつきについて肯定的な意見の割合が少なくなってきております。

高齢化が進むにつれて、住民同士の交流する機会が減少していることが考えられます。今後、多世代間の交流を進めるためにも多様化する住民ニーズを把握するとともに、一層地域資源を活用する必要があると考えます。

### ○一人一役で担い手づくり

### ○広報でまちづくりに関心を



町区の子ども会も一緒にヤマメの放流

地区や町区で世代間交流の催しは、多くの住民の方の協力を得て行われていますが、積極的に関わりたいという意欲を持った方は少数であることから、任意団体の役員な



どの担い手の不足にもつながっていると思われます。

ただ、一人一役で参加したいと回答した方も少なくないことから、まちづくりの協力者として新たな人材を発掘するためにも、まち協をはじめとした地域全体の広報をさらに充実させることが、担い手不足の解消につながっていくのではないかと考えられます。

### ○自然災害は少なくとも備えは必要

### ○交通安全・防犯対策の推進



町の公民館に集まってみんなで健康づくり

近年、毎年のように九州各地で自然災害が発生し甚大な被害を受けています。自然災害が少ないという認識を持っている方が多い麓地区でも、地域で自主防災組織の整備や非常食の備蓄、避難場所・経路の周知などに一層取り組む必要があります。

地域課題として最も多い意見では、幹線道路の渋滞や交通事故の危険性が高まっているということです。幹線道路の渋滞により抜け道として利用される町中の道路での交通事故の危険性も高まっていることから、交通安全対策として標識等の整備や交通安全啓発等に一層力を入れる必要があると考えられます。



子どもたちを交通事故から守る活動

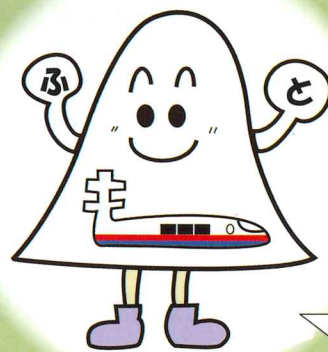




## ⑥ まちづくりの目的（麓地区が目指す姿）

前回実施した住民アンケートでは、麓地区は自然環境が良く利便性に恵まれている地域として捉えられている一方で、交通事故の危険性の高まりや高齢化の進展による担い手不足といった課題が今回の住民アンケートにも上位に挙がってきています。そのため当初の目的である麓地区の人々が「ふるさとを愛するまち」、「もっと住み良いまち」、「ともに助け合うまち」にすることを麓地区の目指す姿として、今後もこの目標を基本とし麓地区のみんなでも共有し、課題解決に向けて取り組んでまいります。

**ふるさとを愛するまち**  
**もっと住み良いまち**  
**ともに助け合うまち**

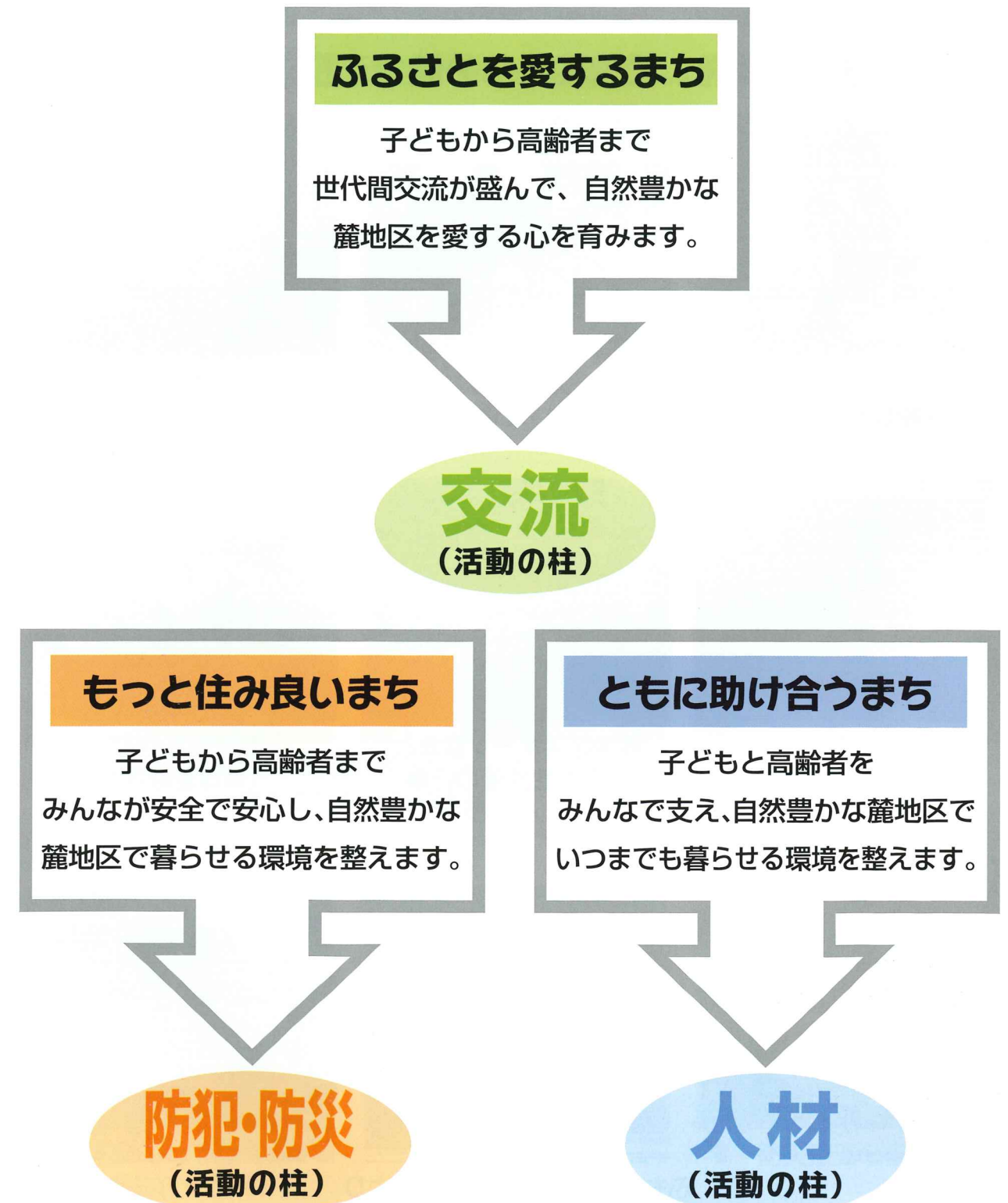


もっと君

このまちづくりの目的は、麓地区に住む皆さんができる範囲で活動に参加され、その活動が麓地区全体に及ぶことを目指すものです。

## ⑦ まちづくりの活動の柱

麓地区の目指す姿を実現するため、それぞれに活動テーマを設定し活動の柱を引き続き「交流」「防犯・防災」「人材」とします。





## ⑧ まちづくりの事業

### (1) 交流に関する事業

麓地区や町区が行っている行事を、広報などを通じて広くみなさんにお知らせするとともに、誰もが参加しやすく地域や世代間での交流が図れるよう取り組みます。

#### 【施設のオープン化、交流のための場づくり】



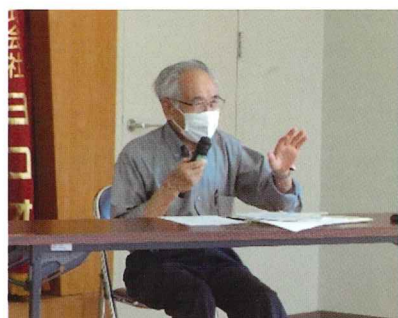
ステージ発表  
(麓地区文化祭)



たこ作り  
(ふれあい祭り)



玉ねぎの収穫  
(ふれあい畑)



主催講座  
(ふるさと学級)



麓地区スポーツ協会と  
子ども会共催の行事  
(親子チャレンジスポーツ)

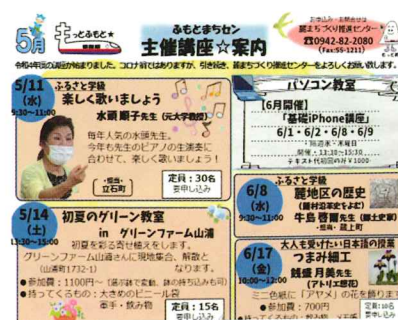


サークル活動  
(卓球愛好会)

#### 【広報の充実】



ふもと通信・麓センターだより



### (2) 防犯・防災に関する事業

町区において設立される自主防災組織や見守り隊などの防犯・防災活動を行う団体及び構成団体の活動を支援するとともに、防犯防災の意識向上に取り組みます。

#### 【見守り活動、交通安全対策、防犯対策、災害対応】



町区の見守り隊と見守り活動



交通安全指導員や地域のボランティアによる  
通学路の安全点検活動



高齢者の見守りを兼ねた集い  
(ふれあい会食会)



交通安全教室  
(麓小学校)



防犯ののぼり旗掲揚  
(各町区に配布)



自主防災訓練



防災意識の啓発



### (3) 人材に関する事業

町区において設立される自主防災組織や見守り隊などの防犯・防災活動を行う団体及び構成団体の活動を支援するとともに、防犯防災の意識向上に取り組みます。

#### 【 担い手の育成、組織改善、一人一役によるまちづくり参加 】



地域の安全安心を担って活動されている団体の皆さん（一例）



「できる範囲での協力を」・・・一人一役でふれあい祭りなどに参加された地域の皆さん

#### 【 ボランティア、地域行事への協力、趣味や特技を生かす 】



自分たちのまちは自分たちの手で  
(美化活動ボランティア)

趣味や特技が活かせるふれあい祭り  
(お手玉や独楽回しなど)

### 麓地区まちづくり推進協議会構成団体

- 麓地区区長会
- 麓地区民生委員児童委員協議会
- 麓地区社会福祉協議会
- 麓地区交通対策協議会
- 麓地区スポーツ協会
- 麓地区青少年育成会
- 麓小学校
- 鳥栖西中学校
- 麓小学校PTA
- 鳥栖西中学校PTA
- 高齢部
- 文化部
- スポーツ部
- 交通部
- 女性部
- 麓地区子ども会
- 鳥栖市消防団第4分団
- 文化教室代表
- 創年たまり場の会
- 四阿屋会
- ふもとおやし会

#### 麓地区の略図



### 麓地区の行政区

蔵上町 (1~4丁目を含む)	養父町	牛原町
山浦町	桜ヶ丘町	山都町
原古賀町	平田町	立石町
一本杉区		





御衣黄桜（麓小学校）

表紙絵(老樹) 多々良 清弘さん (立石町)

編集・発行 麓地区まちづくり推進協議会

〒841-0084 鳥栖市山浦町 1788 番地 1

麓まちづくり推進センター内

TEL 0942-82-2080 FAX 0942-55-1211

発行 令和5年3月